

授業科目名	保健福祉行政論	担当教員	伊藤智子 竹田裕子		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
授業の目的（概要）					
<p>保健医療福祉行政は、国の政策である基本的人権に基づく生存権の保障を確保するための行政である。人間の生命の問題、健康の問題、生活の問題に直結しており、行政が総合的に機能することで、人々が日常生活行動を安全に営むことが保障される。保健医療福祉活動を具現化するため、わが国の保健・福祉に関する法制度を中心に基本的な制度の構造・機能を教授する。</p> <p>また、保健・福祉行政のサービスの連携システムや社会保障・社会福祉制度の問題点、保健・福祉の政策立案過程についても幅広く概説し、地域で生活をしている人々への支援に応用できるようにする。</p>					
学修成果（到達目標）					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健、医療、福祉行政の変遷と基本原理が理解できる。 2. 国・都道府県・市町村の役割と機能、行政の単位と仕組みが理解できる。 3. 保健、医療、福祉に関する法令が理解できる。 4. 医療法を基礎とする医療提供体制について理解できる。 5. 社会保障の概念と社会保険の仕組み・内容が理解できる。 6. 社会福祉の概念と生活保護・児童家庭福祉・高齢者福祉・障がい者福祉の制度が理解できる。 7. 健康危機管理に向けた施策と地域の協力体制が理解できる。 8. 保健福祉の充実・発展に向けた行政機関と民間活動の連携が理解できる。 					
キーワード					
保健医療福祉行政、地域保健、社会保障、介護保険、社会福祉制度、医療制度、保健医療福祉計画、住民参加					
授業の進め方					
<p>オンライン講義である。オンデマンドまたは、LIVE（WEBEX, Teams）にて配信する。初回に教員は、学生別に学習する制度を発表する。学生は、制度についてWord(2枚以内)にまとめ、発表前週の木曜日17:00までに竹田裕子先生にメール添付する。発表当日は、決められた時間を守り、質疑にも対応する。（制度の割り当ては、初回講義のオンデマンドにて説明する）</p>					
成績評価の方法（合否基準）					
<p>2回のオンデマンド講義後の小テスト（配点：10点×2 20点） 担当した制度のstudent lectureの内容と発表態度（配点：20点） 3名の外部講師の講義感想（配点：10点×3 30点） 最終試験 moodle（配点：30点）</p>					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					
<p>【教科書】 最新保健学講座7 保健医療福祉行政論 メジカルフレンド社 国民衛星の動向, 最新版</p> <p>【参考図書】 新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 関係法規 メジカルフレンド社, 最新版 標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論 医学書院 最新版 これからの保健医療福祉行政論 日本看護協会出版会 最新版 国民の福祉と介護の動向 最新版 国民の保険と年金の動向 最新版</p>					
オフィスアワー					
伊藤智子(地域・老年看護学講座) 質問等随時受け付けます					

モデル・コア・カリキュラムとの関連

A-5保健・医療・福祉における協働

ねらい：様々な人と協働し、チームの一員として看護職に求められる役割を果たすための基盤を学ぶ。

学修目標：

②保健・医療・福祉における協働の実際を具体的に説明できる。

B-2-3)生活・ライフスタイルと健康との関連

ねらい：多様な生活・ライフスタイルをもつ人を理解し、その人にとって健康な生活の在り方を考えるための基礎となる生活と健康との関連について学ぶ。また、人がより良い健康行動をとることができるよう支援するために必要な行動科学・社会科学に関連する知識について学ぶ。

学修目標：

⑤生活習慣に関連付けた健康の概念や政策（プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーション、国民健康づくり運動）について説明できる。

⑦主な社会資源と人々の暮らしや健康との関連について説明できる。

⑧人の行動変容支援に必要な基礎理論（心理学、行動科学）について理解できる。

B-2-4地域ケアシステム

ねらい：個人・家族が暮らす地域に存在する社会資源、グループ、組織について理解し、人々の健康な生活のための地域のケアシステムやネットワークの構築の必要性について学ぶ。

学修目標：

②人々に必要な地域のケアシステムやネットワークについて、関連機関や他職種と連携・協働し構築する必要性について説明できる。

C-2-3)生活環境としての場

①生活の場としての地域・社会の意味を説明できる。

②生活とは何か、生活と環境や文化との関係を説明できる。

D-4-1)予防が必要な人々に対する看護実践

ねらい：予防が必要な対象者（個人・家族・集団等）について理解し、健康増進、自立の促進等を目指した看護実践を学ぶ。

学修目標：

④心身の健康障害の早期発見・早期診断・早期治療に必要な健診等のシステムとその活用について説明できる。

⑥地域における心身の健康増進や障害者の生活を支えるシステムについて説明できる。

E-1-1)多様な場の特性

ねらい：看護が提供される多様な場と生活の場の特性を学ぶ。

学修目標：

⑦国や地方自治体等行政機関の特徴について説明できる。

⑧暮らしの場（自宅、施設等）や地域の特性について説明できる。

E-1-2)多様な場に応じた看護実践

ねらい：多様な場に応じた看護実践について学ぶ。

⑦行政機関における保健活動について理解できる。

E-2-1地域包括ケアと看護

ねらい：様々な発達段階、健康レベル、生活の場にある人々が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるようにするための、医療・看護・介護・予防・住まい・生活・子育て支援のためのサービス提供機関について学ぶ。

学修目標：

①地域包括ケアの概念について理解できる。

②地域包括ケアにおける自助・互助・公助の必要性について理解できる。

③様々なライフサイクル、健康レベルになる人々への住み慣れた地域での健康支援の必要性について説明できる。

準備学修に必要な学修の時間

各講義の中で指示します

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	配信方法	テーマ	授業内容	担当者
1	10月4日	10:25-12:05	N21	オンライン	オンデマンド	保健医療福祉行政の基本	保健福祉行政論 ガイダンス 保健福祉行政が目指すもの・理念	伊藤智子
2	10月11日	10:25-12:05	〃	オンライン	オンデマンド	保健医療福祉行政の基本	保健福祉財政のしくみ 保健医療福祉政策の発展と課題	伊藤智子
3	10月25日	10:25-12:05	〃	オンライン	Teams LIVE	保健医療福祉に関する法と制度Ⅰ	student lectureとディスカッション①(母子関係)	伊藤智子・竹田裕子
4	11月1日	10:25-12:05	〃	オンライン	WEBEX LIVE	社会保障制度と政策	社会保障制度の概要と機能	出雲市社会福祉協議会
5	11月8日	10:25-12:05	〃	オンライン	Teams LIVE	保健医療福祉に関する法と制度Ⅱ	student lectureとディスカッション②(感染)	伊藤智子・竹田裕子
6	11月15日	10:25-12:05	〃	オンライン	Teams LIVE	保健医療福祉に関する法と制度Ⅲ	student lectureとディスカッション③(成人・労働)	伊藤智子・竹田裕子
7	11月22日	10:25-12:05	〃	オンライン	Teams LIVE	保健医療福祉に関する法と制度Ⅳ	student lectureとディスカッション④(精神・医療)	伊藤智子・竹田裕子
8	11月29日	10:25-12:05	〃	オンライン	Teams LIVE	保健医療福祉に関する法と制度Ⅴ	student lectureとディスカッション⑤(福祉)	伊藤智子・竹田裕子
9	12月6日	10:25-12:05	〃	オンライン	WEBEX LIVE	社会保障制度	年金制度	出雲年金事務所
10	12月13日	10:25-12:05	〃	オンライン	Teams LIVE	保健医療福祉に関する法と制度Ⅵ	student lectureとディスカッション⑥(虐待)	伊藤智子・竹田裕子
11	12月20日	10:25-12:05	〃	オンライン	Teams LIVE	保健医療福祉に関する法と制度Ⅶ	student lectureとディスカッション⑦(高齢者・難病)	伊藤智子・竹田裕子
12	12月27日	10:25-12:05	〃	オンライン	WEBEX LIVE	保健医療福祉の計画と評価Ⅰ	計画の策定プロセスと評価	島根県健康福祉部
13	1月17日	10:25-12:05	〃	オンライン	Teams LIVE	保健医療福祉に関する法と制度Ⅷ	student lectureとディスカッション⑧(災害・その他)	伊藤智子・竹田裕子
14	1月24日	10:25-12:05	〃	オンライン	オンデマンド	保健医療福祉の計画と評価Ⅱ	地域保健行政と保健師活動	伊藤智子
15							試験	伊藤智子

備考